

就労ネットで取り組みたい事をみんなで考えよう アンケート結果

アンケート記入者 23 名

就労ネットの取り組みで必要と思われる程度に○をつけて下さい

Q1、就労支援制度の知識・情報共有

とても必要	必要	どちらでも良い	あまり必要ない	全く必要ない
18	5	0	0	0

* 具体的に知りたいものや提案があれば書いて下さい

- ・ 上手くいかなかった時の支援(危機介入)について
- ・ 新しい情報、労基法等、更新されたものがあれば教えていただきたい
- ・ 具体的なケースを通しての発表
- ・ 10分トークで調べたことを発表するコーナー
- ・ 支援学校ということである程度理解はしているが、事例があれば欲しい
- ・ 労働行政の動向(労働関係法規ほど変更の多い法規はない)
- ・ 職員配置や補助金、加算関係について等
- ・ 企業に提案できる助成金等(効率的な使い方や提案方法)
- ・ 障がい者就労支援制度の知識・交通機関等の割引など体験実習の受け入れを実際に働きかけたいです
- ・ 最新の制度や、実際に制度などを利用してどうだったかを知りたい。

Q2、生活支援などの知識・情報共有

とても必要	必要	どちらでも良い	あまり必要ない	全く必要ない
10	13	0	0	0

* 具体的に知りたいものや提案があれば書いて下さい

- ・ 社会資源についての情報をたくさん持っておきたい(提案の引き出しを増やしたい)
- ・ 施設外(帰宅時等)での様子はどのように把握すればよいか、また、どの程度まで介入すべきなのか
- ・ どの機関でどのようなサービスをされているのか
- ・ GH やガイド等の支給決定量や制度等について知りたい
- ・ 年金申請の流れ等
- ・ 自立訓練利用の方には必要です、基本からお願いします
- ・ 10分トークで調べたことを発表するコーナー

- ・ 生活支援の福祉サービスについて
- ・ 休みの日、夜間の過ごし方(余暇活動)に関すること
- ・ 生活保護や社会福祉協議会の離職者へ向けた給付貸付制度や年金の知識をもっと充実させたいです

Q3、高槻・島本地域の就労支援の現状や、各事業所などの情報共有

とても必要	必要	どちらでも良い	あまり必要ない	全く必要ない
13	9	1	0	0

* 具体的に知りたいものや提案があれば書いて下さい

- ・ 市独自の制度、支援に対する方向性の理解
- ・ 各事業所の名簿
- ・ 就労支援を行う際に特に効果が見られた方法(支援の仕方)
- ・ 定着支援について、
- ・ 各事業所の訓練の流れ、現状、支援方法、就労支援プログラム
- ・ 個別支援計画を制作するにあたっての留意点や支援のバリエーション
- ・ 内職や求人、実習先の情報共有
- ・ 医療との連携
- ・ 各事業所の強みを明確に知りたい
- ・ 暫定期間のアセスメント、市役所に提出する書式や時期
- ・ 各事業所が、自分の事業所の特徴を発表する機会を作る。10分トーク拡大版？
場合によっては、卒業者や今の利用者と支援者が一緒に発表するのも良いかも
- ・ 毎回？二か月に一回？、各事業所の空き状況やトピックス等を簡潔に情報共有する

Q4、高槻・島本地域の各事業所同士の連携・協働・スキルアップに向けた取り組み

とても必要	必要	どちらでも良い	あまり必要ない	全く必要ない
11	10	2	0	0

* 具体的な取り組みのイメージやアイデアがあれば書いて下さい

- ・ 共有ツールは続けたい(低予算で)
- ・ 合同座学、お互いの作業風景の見学、意見交換(余暇活動)し、支援者だけでなく、利用者同士の交流の場も作りたい
- ・ 実際にどのような連携、協働、スキルアップをされているか情報共有
- ・ 各事業所の特色等を知りたい
- ・ 「こんな時は私に！」みたいな事業所の中での各担当の情報等
- ・ 先進地見学、就労支援機関のCM合戦、キャッチフレーズ(就労ネットに)

- ・ 経済的な問題がありますが、外に出て他市町村の事業所の見学会
- ・ 見学に行けたのはとてもよかったです
- ・ 各事業所の特色・強みを知り合い、うまく地域で役割分担をし、高槻・島本全体で連携・協働する

Q5、高槻・島本地域の生活支援などの現状や、各事業所などの情報

とても必要	必要	どちらでも良い	あまり必要ない	全く必要ない
9	11	3	0	0

*** 具体的に知りたいものがあれば書いて下さい**

- ・ 生活が苦しい人が頼れる制度、事業所は？
- ・ 直接的な就労支援以外のサービス、社会資源について
- ・ 行政側がどのように社会資源のことを理解しているのか、または理解度
- ・ 新しい情報が欲しい
- ・ 個々の利用者に合わせた支援の方法を支援者同士がどのように情報を共有しているか
- ・ 余暇活動の内容(特に就労後)
- ・ GH やガイド等の利用において
- ・ 具体的にどのようなサービスをされているのか、特色等
- ・ 事業所を超えた利用者同士のつながりの把握(でもプライベートなことなんで介入しすぎても微妙…?)
- ・ 同法人のなかの施設見学もまだのところを行ってみたいです

Q6、高槻・島本地域の生活支援機関等との連携・協働・スキルアップに向けた取り組み

とても必要	必要	どちらでも良い	あまり必要ない	全く必要ない
8	13	2	0	0

*** 具体的な取り組みのイメージやアイデアがあれば書いて下さい**

- ・ 事業所見学会？
- ・ 各事業所の特色等を知りたい
- ・ 「こんな時は私に！」みたいな事業所の中での各担当の情報等
- ・ ケアホーム利用の方もいらっしゃるの、生活面の様子も聞けるのでありがたいです
- ・ 今後相談支援事業所との連携が多くなるので、状況を教えてもらい、連携の仕方を一緒に考える
- ・ 地域に医療 → 福祉 → 就労 という、就労支援の流れを作り出す

Q7、企業情報の共有。雇用先、実習先など。

とても必要	必要	どちらでも良い	あまり必要ない	全く必要ない
17	5	1	0	0

*** 具体的な取り組みのイメージやアイデアがあれば書いて下さい**

- ・ メーリングリストやサポネットの活用
- ・ 毎年度末に企業名、就労人数を記載した『就労企業一覧表』を公表する(就ポツ作成)
- ・ 求人情報を頂いても、自法人では対象者がおられないこともあるので、そのような情報共有ができればと思います(メーリングリスト等でもいいかもしれませんが…)
- ・ 高槻市就労体験事業の活用及び、受け入れ企業の開拓
- ・ メールで送信(就ポツで取りまとめ等して頂けると嬉しいですが…大変ですよ)
- ・ 会議での情報提供
- ・ 主となる機関を決め、必ず情報発信、共有
- ・ 参加している法人への一通りの訪問の機会等

Q8、就労ネット参加者同士の交流

とても必要	必要	どちらでも良い	あまり必要ない	全く必要ない
11	11	1	0	0

*** 具体的な取り組みのイメージやアイデアがあれば書いて下さい**

- ・ 就労移行利用者で途中から全く来られない方がいらして気になっています、そういう方へ次の場をご紹介するために情報があればよいのではと思いました
- ・ 懇親会、飲み会、茶話会、交流会
- ・ 共有ツール
- ・ お互いのスキルアップのため、忌憚なき意見交流を普段からできるよう…
- ・ 参加できていないのですが、顔の見える関係作りにとっても良かったと思っています

Q9、就労ネットの維持・存続

とても必要	必要	どちらでも良い	あまり必要ない	全く必要ない
9	13	1	0	0

Q10、維持運営していく上でお金が必要となった場合どのような支払い方がよいでしょうか？

年会費	月会費	一回あたりの参加費	資料代
10	1	10	0

記入のない方も数名おられました。

Q11、前回の Q10 でお答えになった支払い方法でいくら位なら良いでしょうか？

年会費	100～500 円、3,000 円、5,000 円、10,000～20,000 円 賛助会員 3,000～5,000 円
-----	---

	準会員 10,000 円 正会員 30,000 円
月会費	1,000～3,000 円
一回あたりの参加費	300～500 円、500～1,000 円、3,000 円
資料代	0

*** 補足コメント**

- ・ 行政よりの補助金をゲット(高槻市 30 万、島本町 5 万)
- ・ 少なく言ってごめんなさい、私の資力ではこれぐらいが精一杯です
- ・ 法人負担であればいくらでも OK です
- ・ 事業所と相談になりますが、逆に必要金額から参加事業所の数で割るとどのくらいの金額になるのか教えて頂きたいです(上司と話をしてみますので…)

Q12、その他必要と思われるものや、取り組みたい事、こうすれば良いと思う事等、自由に書いて下さい

- ・ 無料の講師に依頼(職業センター、ハローワークや労働局、各施設の管理職等)
- ・ より具体的な提案(事例検討)
- ・ 企業の方に来ていただきたい
- ・ 事例の蓄積(支援学校在学学生へのフィードバック)→新規開所事業の情報キャッチ
- ・ 当事者一人一人の共通理解(ケースの共有の方法)→会議の持ち方
- ・ 防災、減災における取り組みでもネットワークを組んでおきたい
- ・ 就労支援をするなら、決めた時間内に予定を終える意識は必要だと思う。
- ・ 就労者の余暇の支援
- ・ 障がい者雇用の啓発イベント
- ・ 働くことの動機等を綴った文集
- ・ 『会則』の作成…会費等の拋出の為
- ・ 会則の前文として等ネットワークの『憲章』の作成
- ・ 『幹事』法人を 2 年毎に代わる
- ・ 事業所それぞれの取り組みを具体的に知る仕組みができれば…
- ・ 様々な分野の事業所が必要としている課題をピックアップして議題として取り組む機会が欲しい。(お互いにどういった情報が欲しくてどんな活動や事業を展開していて、どうすれば上

} 準備委員会の早期着手
(5 月末まで～6 月中旬)

手く連携できるか宣伝し合う。)

- ・ 内容が充実したものにできれば、月 1 回のペースでなくても、2 ヶ月に 1 回というように減らしても意味あるものになるのでは？(参加者への負担(費用・時間)も減り、参加しやすい。)
- ・ 生活支援事業所の立場では、“参加させてもらう、勉強させてもらう”という視点での参加で精一杯な面があり、今後についてという所まで提案できず申し訳ありません。しかし、数回参加させて頂く中で、基礎講座であったり、幅広く他事業所の方と接する機会となり、とてもありがたかったです。可能であれば、参加費を払ってでも聞きたいような企画で、研修や連絡会等を作ってもらえるといいなと思います。
- ・ スキル向上を目指した取り組みはより良い支援に不可欠であり、また職員の能力向上が就職実績の上昇に繋がると思うので、積極的に取り組みたい。
- ・ できるだけ参加させていただいて勉強させていただいていつも有難く思っています。具体的な取り組みが思い浮かびません、すみません。
- ・ いろいろな企画をして頂いたので、参加して楽しかったし勉強にもなった。同じ内容で予算がないと内容を企画することが難しくなり、参加者が減少するか心配。
- ・ 4 月から入職のため、高槻・島本の状況がまだまだ理解できていないため、具体的なことが記入できなくて申し訳ありません。これからいろいろと学ばせて頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。
- ・ 情報共有・経験共有し、それがスキルアップに繋がり、スキルアップがより良い就労支援と、地域に就労支援の流れを作りだす事になるので、就労ネットでそれを意識した取り組みが出来たら良いと思います

グループごとの意見

A 班

- ・ 相談支援の 5 割弱に障がいがあり、どうしたらいいかわからないことがある。
- ・ ケースについて相談したい、ディスカッションしたい。
- ・ 生活リズムの不安定な人がいる。ヘルパーはどこからどこまでできるのか？
- ・ 生活支援の具体的なサービス、特にヘルパーのことを知りたい。
- ・ 就労ネットの名簿が欲しい。(連絡の取りやすい担当者の名前入り)
- ・ 他市町村の事業所見学会
- ・ スタッフの育成に向けた取り組み、各事業所がどう取り組んでいるか？
- ・ 体験就労の制度を活用してほしい。
- ・ 利用者、スタッフの企業に対するニーズを知りたい。
- ・ 高槻市就労支援計画、今年度より企業開拓がメイン→企業に来てもらってもいい、障がいのことを企業に理解してもらいたい。いろいろな阻害要因があり、相談に来られる。
- ・ 生活面の支援を具体的に知りたい。

- ・ 家族がストレスで一人暮らしをしている利用者がある。どこなら相談にのってくれるのか？

B 班

- ・ 一つの事業所において就労支援に携わっている職員が少ないため、制度等共有したい。
- ・ 月に1度こうして集まることでよい関係作りができています。
- ・ 医療機関のため、生活支援がメインとなっており、就労支援は取り組めていない。同一法人のセンターや他機関(茨木等)に繋ぐこともあるが、まだまだ就労において情報不足なところもある。この研修でそういったところを補えるのでありがたい。
- ・ 発達障がいや精神疾患のある利用者もいるため、医療機関との連携が必要となってくる。福祉、医療、行政でネットワークを組むことで、様々な視点で利用者のニーズを考えていくことができる。
- ・ 高機能障がいやスペルガーの人が多く、自分の障がい受容が難しい人もおり、事例の検討やアドバイスをもらえたらありがたい。
- ・ 各事業所の見学ツアーを行いたい。実際に顔の見える関係作りはできたが、事業所の様子はわかっていない。
- ・ 他の就労関係の研修や SST 等、外部で学んできたことをこの研修で発表していくのはどうか。そうすることで、他事業所の方たちも実践に活かしていくことができるのでは。
- ・ 情報共有で終わるのではなく、情報共有したものを発表できる場になればどうか。

C 班

- ・ 自分のところの事業所だけでは解決しきれないことを共有し合える。
- ・ ネットワークができることで、いろいろな事業所の情報を知ることができたり、支援の活性化にも繋がる。
- ・ 地活 I 型は余暇支援が中心。直接の就労支援ではないが、幅広く連携を図っていく必要がある。
- ・ 就労支援機関の PR 合戦があってもおもしろいかも。
- ・ 実際に働いてらっしゃる方の活動を市民に知ってもらうような啓発のイベントをネットワークでできたらいいのでは(働くってたのしいのような)。

D 班

- ・ 支援者の顔と名前がわかるようになったが、その方が実務で何をしているのかの情報がかかると、スムーズな連携に繋がるのでは。
- ・ 各施設の取り組みが知りたい。
- ・ 各施設の訓練の傾向や流れが知りたい。

- ・ 医療機関も見学したい。
- ・ 日中に集まる機会を持てると、参加者の顔も変わる。また、参加もしやすくなる。
- ・ 学校等、様々な機関を実際に見て回ることによっていろいろな刺激を受けたい。

E 班・

- ・ この班は支援学校の大変さを知れたり、デイケアの人も参加したりして情報交換できた
- ・ 『会則』の作成…会費等の拠出の為
- ・ 会則の前文として当ネットワークの『憲章』の作成
- ・ 『幹事』法人を2年毎に代わる
- ・ 就労移行を利用している人の事例を知れたら良いと思う
- ・ 就労移行に行く前の事前準備をどのようにしておけば良いのか知れたら良い
- ・ 各事業所では、組織では、そのようにケース共有しているのか知りたい

} 準備委員会の早期着手
(5月末まで～6月中旬)